



この町で素敵な「^{ミライ}未来」を描く方をご紹介します。

サッカーの技術だけでなく、
心の成長にもつなげていきたい

白鷹FCホークス コーチ

橋本 はしもと 一馬さん かずま (畔藤在住)



今回ご紹介するのは、今年で創部50周年を迎える白鷹FCホークスでコーチを務める橋本一馬さんです。

橋本さんは、小学校の頃にサッカーを始め、高校を卒業した後もサッカーに携わりたいと思い、自身の出身チームでもある白鷹FCホークスで、指導者としての道を進むことを決めました。「長年コーチとして携わってきた、現役の時とはまた違ったやりがいも増えました。最初の教え子たちが社会人になり、今でも付き合いがある人もいます。そういったつながりはとても嬉しいですね」と語る橋本さん。現在は、主に小学校1・2年生の子どもたちを担当しており、小学校低学年ならではのやりがいや戸惑いがあるそうです。「気持ちの切替が難しいのが小学校低学年であり、普段の練習の中で、『楽しいと遊びの境目』『難しいと無理の境目』をうまく調整できない時が多々あり、そのたびに自分の指導スキルの未熟さを痛感します。子どもたちが今何をする時間なのかを理解してもらうために、話を聞く時間や練習する時

☆
ミスを恐れなくて
チャレンジしていこう！

間など、明確な時間を作るように心がけています」と語り、日々の指導を振り返りながら指導方法のアップデートにも取り組んでいます。「私たちがチームコンセプトとして掲げているのが『リスベクト』です。自分にも、周りの人にも感謝の気持ちを持って行動することを大切にしています。幾多のスポーツがある中で、サッカーを選んできた子どもたちに、私たちも感謝をしています。サッカーだけでなく心の成長にもつながるように、コーチ一同これからも頑張っていくます！」と、活気に満ち溢れたグラウンドで一息懸命練習に励む子どもたちの姿に熱い視線を送りながら語ってくれました。

